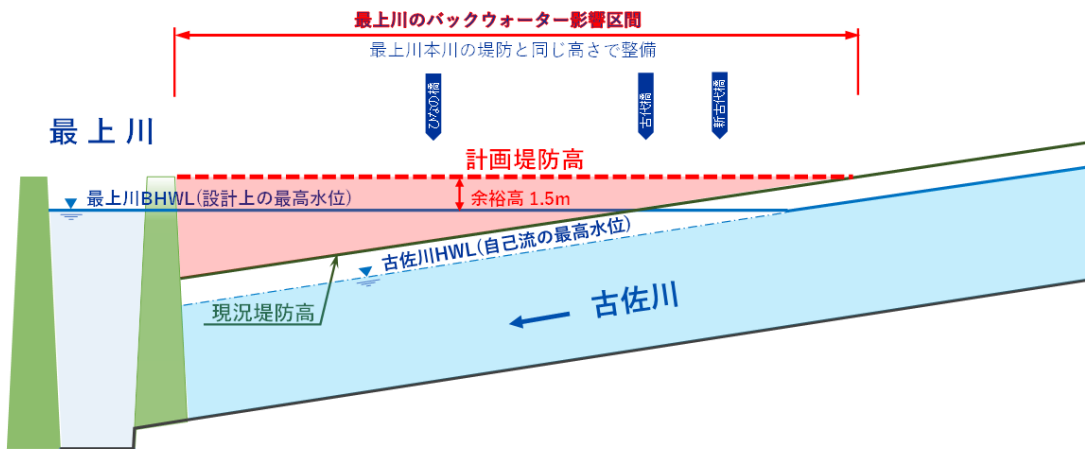


■ 令和2年7月豪雨  
 浸水区域面積 約50ha<農林水産被害>  
 浸水区域内家屋 52戸 (床上27戸・床下25戸)

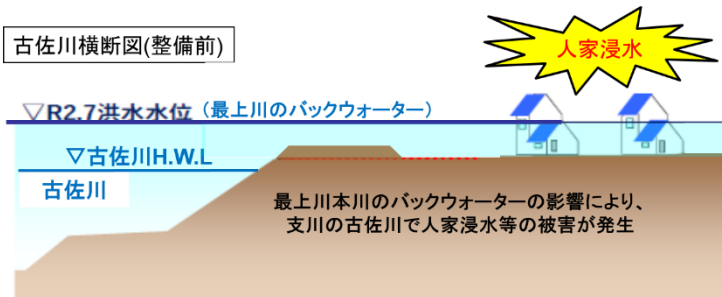
 令和2年7月豪雨浸水範囲



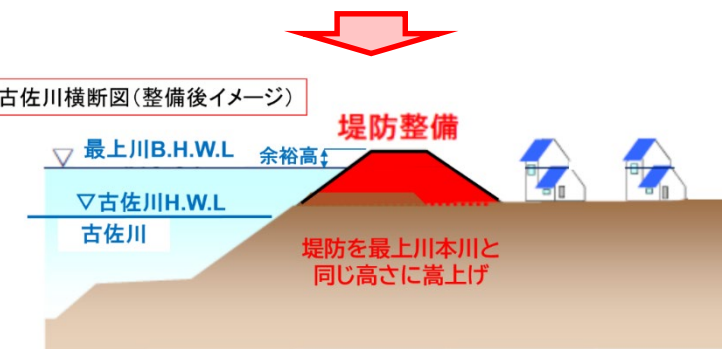
整備イメージ



古佐川横断図(整備前)



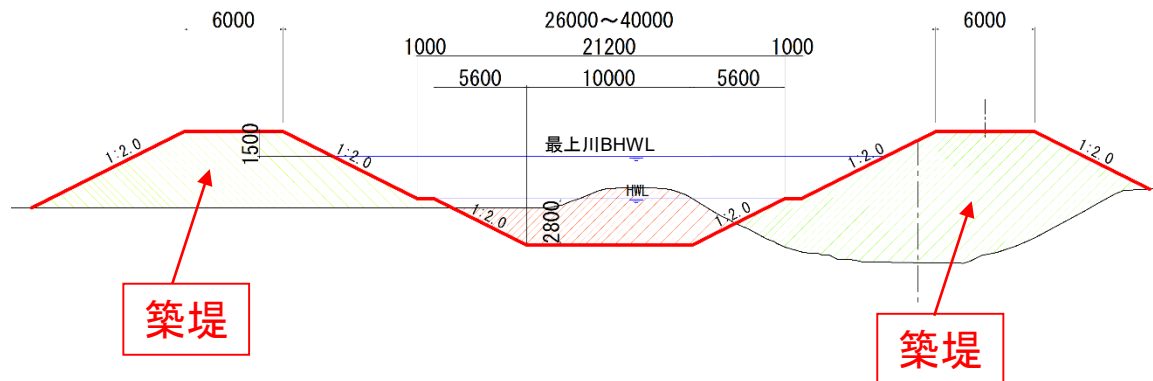
古佐川横断図(整備後イメージ)



現況



計画横断図





①古佐川左岸溢水(7/28)



②(主)寒河江村山線冠水(7/29)



③(主)寒河江村山線冠水(7/28)



山形県公共事業評価システム 事前評価 妥当性評価調書

I. 事業の概要

(1) 路線・河川名等	一級河川最上川水系古佐川	(7) 事業期間	[着工]	令和 3 年度
(2) 担当課室名	河川課最上川流域治水推進室		[完了]	令和 11 年度
(3) 対象事業名	河川整備補助事業	(8) 全体事業費	4,200,000 千円	
(4) 統一事業名	河川改修事業	(9) 事業区別(補助・単独)	補助事業 <input checked="" type="checkbox"/>	単独事業 <input type="checkbox"/>
(5) 総合支庁名	村山総合支庁西村山地域振興局	(10) 計画概要・事業の狙い	令和2年7月豪雨に最上川のバックウォーター(背水)による影響で氾濫した古佐川下流1.9km区間について、国土交通省で実施する最上川堤防整備と一体となった河道整備を行い、良好な住環境の確保や農業振興の促進を図る。	
(6) 事業箇所	[市町村名]		河北町	
	[地区名]	谷地外		

II. 対象事業の妥当性評価

1. 実施主体

(1) 県が実施する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 河川法第9条第2項により河川管理者である県が実施する。
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 法令に基づく事業主体であるため妥当である。

2. 費用対効果

(1) 分析対象	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象	[参考資料名]	国土交通省 水管理・国土保全局 治水経済調査マニュアル(案)(R2.4)
	<input type="checkbox"/> 分析対象外	[分析対象外とした理由]	
(2) 分析結果	便益(現在価値計):B		5,234,000 千円
	便益算定に用いた主な指標値	[指標1]	被害防止便益 [指標値] 5,162,000 千円
		[指標2]	残存価値 [指標値] 72,000 千円
		[指標3]	[指標値]
	費用(現在価値計):C		3,710,000 千円
費用便益比:B/C		1.4	
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 費用便益比が1.0を超えるため妥当である。	

3. 環境への影響

(1) 自然環境	① 懸念事項	<input checked="" type="checkbox"/> 懸念事項なし <input type="checkbox"/> 懸念事項あり	(内容を記入) 事業箇所希少生物は確認されていない。また、工法も一般的なものを計画しており、特段の懸念は想定されていない。
	② 対処方法		(懸念事項ありの場合、工法・施工方法の工夫等の対処方法を記入)
(2) 生活環境	① 懸念事項	<input checked="" type="checkbox"/> 懸念事項なし <input type="checkbox"/> 懸念事項あり	(内容を記入) 事業実施による既存交通網の途絶は代替を確保すること、施工は標準的な工法を計画していることから生活環境、騒音・振動・水質等に関して特段の懸念は想定されていない。
	② 対処方法		(懸念事項ありの場合、工法・施工方法の工夫等の対処方法を記入)
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 自然環境及び生活環境への影響に特段の懸念は想定されないため妥当である。	

4. 事業内容

(1) 求められているサービス水準	① サービス水準(現況)	最上川増水時の背水影響による想定氾濫面積123.7ha、想定氾濫区域内家屋81戸
	② サービス水準(実施後)	最上川増水時における背水影響による被害解消
	③ 当サービス水準の必要性を示す資料	一級河川最上川水系 村山圏域河川整備計画(知事管理区間)
(2) 事業内容(当該案)	① 主な事業内容	最上川の背水に対する完全バック堤(築堤工、護岸工、橋梁工)
	② 主な事業内容の位置・ルート	河北町 谷地外
	③ 主な事業内容の規模	河川改修(築堤等)L=1.9km
当事業内容(3)が求められる理由	① 代替案の有無と理由	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし (代替案ありの場合はその事業内容を、ない場合はその理由を記入) <input type="checkbox"/> 代替案あり 左岸の農地を、洪水時の河川の流水を一時的に氾濫させる遊水地とする代替案の検討を行ったが、高い頻度で氾濫原となるため畑地としての土地利用が困難である。
	② 求められるサービス水準を実現する上で当事業内容が必要となる理由	事業規模の必要性 (代替案がある場合は当該案について代替案と比較しながら説明) 最上川の計画高水位に対応したバック堤整備であり、事業規模は妥当である。
	その他の事業内容の必要性	(代替案がある場合は当該案について代替案と比較しながら説明)
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 令和2年7月豪雨等で浸水被害が生じた最上川の背水による影響を防ぐことができる。

5. 政策等への貢献

(1) 優先整備の必要性	① 不利益軽減の必要性	<input type="checkbox"/> 必要性なし (内容を記入) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性あり 最上川本川の背水影響による洪水の氾濫被害を抑制し、地域の安全を確保。
	② 事業連携効果発現の可能性	<input type="checkbox"/> 可能性なし (内容を記入) <input checked="" type="checkbox"/> 可能性あり 国土交通省で実施する最上川本川の堤防整備と一体となった治水対策が可能。地域の特産物である秘伝豆等の産地化など農業振興の促進が期待される。
(2) 第4次山形県総合発展計画実施計画での位置づけ	<テーマ・施策・主要事業> 政策の柱4 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり	<項目> 政策1 大規模災害への対応など危機管理機能の充実強化 令和2年7月豪雨と同規模の洪水等に対し、浸水被害の解消を図る河川改修であり、当施策に合致する。
(3) やまがた「県土未来図」での位置づけ	<基本目標・施策群> 基本目標1 県民の暮らしを支える安心・安全な県土づくり	<施策> 施策1 治水・土砂災害対策の推進 令和2年7月豪雨と同規模の洪水等に対し、浸水被害の解消を図る河川改修であり、当施策に合致する。
(4) やまがた水害・土砂災害対策中期計画での位置づけ	<施策名> 水害対策編 取組2 被害を軽減するための効果的な整備、効率的な維持管理の推進	優先度に応じた効果的な河川施設整備 令和2年7月豪雨と同規模の洪水等に対し、浸水被害の解消を図る河川改修であり、当施策に合致する。

6. 総合評価

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当(条件付き) <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 事業主体、費用対効果、環境への影響、事業内容、政策等への貢献を総合的に判断し、妥当と評価
特記事項	<input checked="" type="checkbox"/> 特記事項なし <input type="checkbox"/> 特記事項あり	(内容を記入)